

小名浜海星高校における読書活動推進へ向けた取組

1 学校の概要

- ①所在地 福島県いわき市小名浜下神白字武城23（本校舎）
福島県いわき市小名浜下神白字館の腰153（水産校舎）
- ②学級数・生徒数 16クラス 514名（令和4年5月1日現在）
- ③学校図書館の蔵書数 26, 317冊（本校舎）
10, 416冊（水産校舎）（令和4年5月1日現在）

2 読書活動推進のための取組内容

(1) 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館の一層の充実に向けた取組

- ・リクエスト・予約および校舎間貸借の受付

カウンターにリクエストカードを設置している。リクエストに関しては、予算や内容を検討しながら可能な限り応えている。蔵書の中で読みたい本が貸出中の場合は、予約を付けている。また、リクエストされた図書がもう一方の校舎に所蔵されている場合は、校舎間貸借をすることができる。

- ・図書館だよりの発行

長期休暇中を除き、月1回発行。両校舎の新着図書リストのほか、図書委員のオススメ本紹介、図書館で開催中のイベントの情報等を掲載している。図書館だよりは学校HPにも掲載している。

- ・図書館報の発行

年1回（3月1日）発行。図書委員会の活動報告、読書アンケート結果、図書館利用状況などを掲載している。

- ・メイン展示（両校舎）

館内入ってすぐのスペースにて、都度テーマを変えたメイン展示を行っている。テーマは季節に沿ったもの（七夕展示「星に願いを」）、図書館で開催中のイベントに沿ったもの（後述の図書模擬選挙にあわせた「選挙を知ろう」）、生徒の授業成果物（生徒作成POP展示「3-1が選んだ本」）など。



- ・ミニ展示（本校舎）

館内窓際に机を置き、2～4冊の小さな展示を行っている。特にテーマを設けずに、毎日のように図書館に足を運ぶ常連に向けて、頻繁に展示資料を入れ替えている。



- ・「図書館だよりで紹介の本」コーナーの設置（両校舎）

図書館だよりに掲載した図書を、紹介文と共に展示している。また、紹介した本の関連図書も併せて展示している。



（本校舎）



（水産校舎）

- ・進路関係図書コーナーの設置（両校舎）

就職・進学関連の面接対策資料や小論文の技法書、さまざまな職業について紹介する図書等を配架している。



（本校舎）



（本校舎）



（水産校舎）

・「図書委員のおすすめ本」コーナーの設置（両校舎）

図書委員が蔵書の中から選んだ、生徒が親しみやすい本を、図書委員が作成したPOPと併せて展示している。

※このコーナーは『図書館報』に掲載。



（ 本 校 舎 ）



（ 水 産 校 舎 ）

・「映画化の本」コーナーの設置（両校舎）

映画化された本のうち、最近公開されたもの、これから公開されるものを中心に配架している。原作本の紹介POPのほか、映画のフライヤー・あらすじ紹介等も併せて展示している。



（ 本 校 舎 ）



（ 水 産 校 舎 ）

- ・ブックリスト掲載図書の展示（両校舎）

いわき地区高校司書研修会にて発行のブックリストや、各出版社発行のブックリストに掲載の資料および関連資料を展示している。ブックリスト掲載の書評を合わせて展示するほか、掲載図書がもう一方の校舎に所蔵されている場合は相互貸借が可能である旨を案内している。



（本校舎）



（水産校舎）

- ・「学校生活のプラスαになるオススメの本」コーナーの設置（本校舎）

各教科関連図書や、探究学習の指南書、進路関係図書、部活関連の技法書などを配架している。なるべく、イラストや写真が多く、読みやすい図書を選定している。



- ・『「福島県高校司書研修会 高校生の読書アンケート」結果による小名浜海星読書家さんが読んでいる BOOKS」コーナーの設置（本校舎）

毎年9月に実施している「福島県高校司書研修会 高校生の読書アンケート」の結果のうち、「最近読んだ本」「今まで読んだ本の中で心に残った本」に挙げられていた本を展示している。



- ・「みなさんのオススメの本をおしえてください」ボードの設置（本校舎）

図書館前に設置のホワイトボードで、生徒のオススメの本の情報を募っている。図書委員に積極的に書いてもらうほか、全校生徒や教員も自由に本を紹介できるようにしている。

- ・季節のディスプレイ（両校舎）

出入口付近やカウンター、新着図書コーナーなどに、季節の飾りつけをしている。来館のたびに楽しめる図書館を心がけている。



（ 本 校 舎 ）



（ 水 産 校 舎 ）

（2）学校における読書を通じた読書活動の定着を図る取組

- ・新入生を対象にした図書館オリエンテーションの実施

4月に国語の時間をいただいて、各クラスに1時間のオリエンテーションを実施した。図書館利用の注意点、館内案内などを実施。また、オリエンテーションは本校舎で実施したが、水産校舎図書館の利用案内を合わせて配布し、学科の区別なく、全校生徒が両校舎の図書館を利用できる旨を説明した。

- ・長期休暇前の特別貸出

長期休暇開始の2週間前より、特別貸出を行った。この期間は貸出可能冊数を増やし、返却期日を始業式の翌日までとした。

・「図書模擬選挙」の実施

公民の授業と連携し、主権者教育の一環として、また図書館とその蔵書に関心を持ってもらう目的で「図書模擬選挙」を実施した。「図書館に入れてほしいマンガ」を選ぶ小選挙区選、「図書館で重点的に買ってほしいジャンル」を選ぶ比例代表選の二つを実施。選挙管理委員会から本物の投票箱・記載台を貸借し、一週間の投票期間を設けた。当選したマンガおよびジャンルの購入を進めている。候補作となるマンガの選定や、投票用紙の準備、選挙実施の広報、選挙当日の立会人等を図書委員が行った。

投票選挙の流れ	
①	本校舎または水産校舎の図書室に来る
②	カウンターで投票用紙を2枚受け取る
③	記載台で記入する
④	投票する 1人1日1回投票できます

投票期間	
11月7日(月)～11日(金) 8:30～16:45	
※水産校舎は10日(木)まで	

小選挙区	マンガ	1位：本校舎図書館で購入 2位：水産校舎図書館で購入
比例代表	ジャンル	1位は両校舎の図書館で重点的に購入します。



(本校舎 (公民授業))



(水産校舎 (公民授業))



(水産校舎)

・自習での図書館利用の促進

自習で図書館を利用してもらうよう各教科に働きかけた。また、「図書館で気になった本リスト」を生徒に記入させる等、ただ図書館にいただけにならないようしている。

・図書館多読賞の表彰

3年間(入学～3学年の11月末)で図書の貸出数が多かった生徒上位3名に、図書館多読賞を贈呈している。副賞は図書カード。受賞者は、2月末日の表彰式にて表彰され、卒業式配布の受賞者一覧に記載される。

(3) 読書活動の質の向上へ向けた取組

・国語科との連携

国語表現の授業にて、一人一冊本を選ばせ、その本の紹介帯もしくはPOPを作成した（R4年度は帯、R3年度はPOP）。成果物は、図書館で展示を行った。



・総合的な探求の時間との連携

関連資料を公共図書館から貸借したほか、希望する生徒には公共図書館の利用方法を指導した。また、WEB検索の際の注意点を指導し、WEB検索が万能ではないことの周知に努めた。

(4) その他、読書活動推進へ向けた取組

・図書委員による選書実習の実施

図書委員有志による、書店での選書を実施した。選定された資料は「図書委員の選んだ本」として展示し、図書館報にも掲載。

